

単元名	サッカー	配当時間	14時間
単元の目標	(1) 互いに協力し、役割を分担して練習やゲームをしようとする。また、勝敗に対して正しい態度をとろうとする。 (2) 自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたり、ルールを工夫したりすることができる。 (3) チーム内の攻防の役割を分担し、主に足を使ってパスやドリブルなどを行い、相手の守りをかわして攻撃する技能や防御の仕方を身に付けてゲームをすることができる。		
単元を構想する上での留意点	サッカーは、攻守が入り交じって主に足を使って行うゴール型のゲームである。本単元では、キック（パス、シュート）、ドリブルなどの基礎技能をドリルゲームなどで楽しく身に付けさせる。また、男女混合チームで、全員が参加できる練習方法やルールの工夫を行う。展開例1は、めあて学習の基本的な展開例である。展開例2は、基礎技能習得を重点に置いた例である。		
単元展開例1 ... 基本的な学習活動の例			
準備	サッカーボール4号、ソフトサッカーボール、カラーコーン、学習カード、学習資料 など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 サッカーのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 チームにあつためあてをつかみ、みんなで協力して練習やゲームをしよう ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○チームを編成し、役割を分担する。 ○試しのゲームをし、めあてをつかむ。 2~6 サッカーの基礎的な技能を身につけ、簡単な作戦を立ててゲームを楽しむ。(ねらい1) ○ドリルゲームをする。 ・ドリブルキング ・ドリブルリレー ・パス競争 など ○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○チームのめあてや作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。		・攻守が入り交じって主に足を使って行うゲームの特性を理解させる。 ・パス、ドリブル、シュートなどの基礎技能の大切さを理解させる。 ・1チーム7~10人、男女混合で編成する。 ・1チーム1~2試合行う。 ・1試合各7分程度で行う。 ・キック（パス、シュート）、ドリブルなどの基礎技能習得のためのゲームを行う。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる。 ・ルールや場の例 グリッドコート ミニコート 柔らかいボール など ・めあてを立てられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームのめあてにそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 評 定 チームにあつためあてをもって練習する活動を通して、「思考・判断」を評価する	

<ul style="list-style-type: none"> ○第2ゲームをする。 ○反省し，まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・めあて ・作戦 ・マナー など 7~11 チームにあった作戦を立て，ルールを工夫してゲームを楽しむ。 (ねらい2) ○ドリルゲームをする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○対戦相手と，ルールについて話し合う。 ○チームのめあてや作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し，練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し，まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・めあて ・作戦 ・練習方法 ・ルール など 12~14 サッカー大会をする。 ○リーグ戦でゲームをする。 ○第14時は，単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 ・同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。 ・「ねらい1」の学習をもとに，相手チームとの話し合いでルールや場の工夫がうまくいっているか確認する。 ・工夫したルールや場の例 <ul style="list-style-type: none"> キーパーなし グリッドコート ボーナス得点 など ・めあてを立てられないチームには，話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から，チームのめあてにそった動きができていないチームやまとりのないチームに助言していく。 評 議 チームにあっためあてをもって練習する活動を通して，「思考・判断」を評価する。 ・第1ゲームと同じチームと対戦させる。 ・練習の成果を確認させる。 ・チームに合った作戦を立てさせる。 評 議 ゲームを通して，「技能」を評価する。 ・チームでの話し合いや学習カードによる自己評価などをさせる。
---	---

単元展開例2 ... 基礎技能習得を重点とした学習活動の例

準 備	サッカーボール4号，ソフトサッカーボール，カラーコーン，学習カード，学習資料 など
学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 サッカーのねらいと内容を理解し，学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 <li style="border: 1px solid black; padding: 5px;">チームにあった作戦を立て，みんなで協力して練習やゲームをしよう ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○チームを編成し，役割を分担する。 ○試しのゲームをし，めあてをつかむ。 <p>2~6 サッカーの基礎技能練習をする。(ねらい1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ドリルゲームをする。 ○めあてをつかみ，練習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻守が入り交じって主に足を使って行うゲームの特性を理解させる。 ・キック(パス，シュート)，ドリブルなどの基礎技能の大切さを理解させる。 ・1チーム7~10人，男女混合で編成する。 ・1チーム1~2試合行う。 ・1試合各7分程度で行う。 ・毎時間必ず行うようにする。 ・左記の5項目を1項目1時間程度かけて

- キック，トラッピングの練習をする。
- ボールコントロール，ドリブルの練習をする。
- ヘディング，シュートの練習をする。
- パスの練習をする。
- 1対1の練習をする。
- 反省し，まとめをする。
 - ・できばえ ・態度 など

7～11 サッカーの試合場面を考えたチーム練習をする。(ねらい2)

- 基礎技能練習をする。
- チームのめあてをつかみ練習方法を選択する。
- チームで選んだ練習をする。
 - ・キックオフから ・スローインから
 - ・コーナーキックから ・ゴールキックから
 - ・ボール運び ・シュートエリアで
- 確かめのゲームをする。
- 反省し，まとめをする
 - ・めあて ・練習内容 など

12～14 サッカー大会をする。

- リーグ戦でゲームをする。

- 第14時は，単元のまとめをする。

行う。(1時間に2種目ずつ行うとよい。)

- ・ドリルゲームを取り入れ，楽しく基礎技能練習ができるようにする。
- 評基礎技能の練習を通して，「関心・意欲・態度」を評価する。

- ・チームで選択して行わせる。
- ・試合のいろいろな場面を想起させ，チームに合った内容を選ばせる。
- ・1時間に2種類程度の練習をさせる。

- 評チームにあつためあてをもって練習する活動を通して，「思考・判断」を評価する。
- ・練習の成果を確認させる。

- ・チームに合った作戦を立てさせる。
- 評ゲームを通して，「技能」を評価する。
- ・チームでの話し合いや学習カードによる自己評価などをさせる。